オンラインシラバス　高校3年生　インターナショナルコース(SG)

SG　現代文演習 ---------- 1

SG　古文演習 ---------- 2

SG　漢文演習 ---------- 3

SG　私文・入試古典 ---------- 4

SG　理国・現代文Ⅱ ---------- 5

SG　理国・古典Ⅱ ---------- 6

SG　日本史探究 ---------- 7

SG　日本史演習 ---------- 8

SG　地理探究 ---------- 9

世界史探究 ---------- 10

世界史演習 ---------- 11

SG　倫理・政治経済 ---------- 12

SG　数学Ⅲ ---------- 13

SG　数学ＩＡⅡＢＣ ---------- 14

SG　理系・数学演習 ---------- 15

SG　物理 ---------- 16

SG　化学 ---------- 17

SG　生物 ---------- 18

SG　コミュニケーション英語Ⅲ ---------- 19

倫理・表現Ⅱ ---------- 20

英語演習 ---------- 21

英語表現 ---------- 22

教科	科目	コース	授業時間	担当者
国語	現代文演習	SG・文系	3	沖野・松本

到達目標
国公立大学・難関私立大学合格を目指し、論述問題を中心に実践的に演習・解説を繰り返し、実力を身に着ける。

授業の進め方・学習方法
オリジナル教材を作成し、論理的文章・小説の論述問題（100字程度）を演習・解説を繰り返す。添削することはもちろんだが、 生徒たちで模範解答を作成する協同学習も行う。

授業スケジュール	
1学期	国公立大学（東京大学・名古屋大学）演習・解説・共通テスト対策演習・解説
1学期中間試験	
1学期	国公立大学（北海道大学・東北大学）演習・解説・共通テスト対策演習・解説
1学期期末試験	
2学期	国公立大学（東京大学）演習・解説・私立難関大学（明治大学・早稲田大学）演習解説
2学期中間試験	
2学期	志望校に合わせた入試演習・解説
2学期期末試験	
3学期	志望校に合わせた個別指導中心
学年末試験は実施しない	

成績評価方法		
種別	割合(%)	評価基準など
定期試験	80	漢字の小テストは毎週行います。
レポート	0～20	
小テストなど	0～20	
授業での取り組み	0～20	

教科書・教材		
書名	出版社	備考
オリジナル教材		

参考書			
書名	著者	出版社	備考

担当者からのアドバイス
論述問題はとりあえず書くということをしなければ始まりません。失敗を恐れず、どんどん書いてみましょう。

教科	科目	コース	授業時間	担当者
国語	古文演習	SG	3	宮田・髙橋直

到達目標

1.入試問題を解くために必要な知識、読解力を養う
2.古典文学作品を通し、日本文学や文化に対する幅広い教養を身につける

授業の進め方・学習方法

実際の入試問題を中心とした問題演習を行う。
毎回の小テストで語彙や文法知識の徹底を図る。

授業スケジュール

1学期	入試問題演習（演習は国公立大・私大・共通テスト対策など幅広く行う）
1学期中間試験	
1学期	入試問題演習（演習は国公立大・私大・共通テスト対策など幅広く行う）
1学期期末試験	
2学期	入試問題演習（演習は国公立大・私大・共通テスト対策など幅広く行う）
2学期中間試験	
2学期	入試問題演習（演習は国公立大・私大・共通テスト対策など幅広く行う）
2学期期末試験	
3学期	
学年末試験は実施しない	

成績評価方法

種別	割合(%)	評価基準など
定期試験	80	定期試験を80%の評価対象とし、残り20%を授業内テストや課題、授業内の取り組みなどで評価する。
レポート	0～20	
小テストなど	0～20	
授業での取り組み	0～20	

教科書・教材

書名	出版社	備考
共通テスト＋センター試験 国語過去問題 平成31～令和5年＋プレテスト 総合版〈増補版〉	尚文出版	

参考書

書名	著者	出版社	備考
体系古典文法		数研出版	
古文単語FORMULA600		東進ブックス	
漢文必携		桐原書店	

担当者からのアドバイス

これまで身につけた古文の知識を用いて、実際の演習に取り組みます。
欠けている部分が明らかになったら、そこを補うような自己学習を行ってください。
毎回の小テストや問題演習に対する真摯な取り組みと、授業での高い集中を望みます。

教科	科目	コース	授業時間	担当者
国語	漢文演習	SG	2	河野・遠藤

到達目標
①文章のジャンルに応じて的確な解釈ができる。 ②共通テストにおける選択問題や難関私大・国公立二次試験の記述問題に的確に解答できる。 ③漢文の句形や中国思想について、知識を深め、読解に活用することができる。

授業の進め方・学習方法
演習形式の授業となります。演習問題を解いていく中で、文章自体の現代語訳が滞りなく作れるよう、読解するうえでの練習を重ねていきます。そして次に、設問の解法が身に付けられるよう実践を通じて練習を重ねていきます。

授業スケジュール	
1学期	テキストを用いた問題演習 ①秦から漢代初期にかけての歴史的事項 ②再読文字、使役形、受身形などの確認、漢文の構造理解
1学期中間試験	
1学期	テキストを用いた問題演習 ①先秦思想（儒家と法家） ②反語形、詠嘆形、抑揚形など句形全般
1学期期末試験	
2学期	テキストを用いた問題演習 ①先秦思想（儒家と道家）・漢代思想・宋学 ②抽象的文章の
2学期中間試験	
2学期	難関私大、国公立二次試験過去問演習
2学期期末試験	
3学期	個別対応
学年末試験は実施しない	

成績評価方法		
種別	割合(%)	評価基準など
定期試験	80	定期試験を80%の評価対象とし、残り20%を授業内・授業外小テストや課題、授業内の取り組みなどで評価する。
レポート		
小テストなど	0～20	
授業での取り組み	0～20	

教科書・教材		
書名	出版社	備考
重要問題演2023共通テスト　古典	Benesse	
漢文必携	桐原書店	

参考書			
書名	著者	出版社	備考

担当者からのアドバイス
演習量をこなし、様々な分野の問題を解けるようにしましょう。演習で一度読んだ文章は、すべて現代語訳ができるようにしてください。

教科	科目	コース	授業時間	担当者
国語	入試古典	SG・私文	3	河野

到達目標

中堅私大から難関私大・国立2次の古典に対応できる読解力を身に着ける。

授業の進め方・学習方法

火曜2限：古文単語315を用いて単語および古典常識の定着を図る。
水曜4限：『古典読解問題　難解私大編』を用いて問題演習を行う。
水曜6限：3人1組のグループとなり、4限で解いた問題について各自発表（他メンバーに解説）する。
　　担当以外の問題も必ず解き、質問を用意するなどして主体的に発表を聞く姿勢をとる。

授業スケジュール

1学期	問題演習『古典読解問題　難解私大編』古文編：第1回～第2回 ※『古典読解問題　難解私大編』が届くまではプリント対応します
1学期中間試験	
1学期	問題演習『古典読解問題　難解私大編』古文編：第3回～第7回
1学期期末試験	
2学期	問題演習『古典読解問題　難解私大編』古文編：第8回～第11回
2学期中間試験	
2学期	問題演習『古典読解問題　難解私大編』古文編：第12回～第16回　漢文編：第1回～第3回
2学期期末試験	
3学期	
学年末試験は実施しない	

成績評価方法

種別	割合(%)	評価基準など
定期試験	80	定期試験を80%の評価対象とし、残り20%を小テストや授業内の取り組みで評価する。
レポート		
小テストなど	10	
授業での取り組み	10	

教科書・教材

書名	出版社	備考
古典読解問題　難解私大編	駿台文庫	これから購入します
精選古典B古文編	教育出版	
精選古典B漢文編	教育出版	

参考書

書名	著者	出版社	備考
体系古典文法		数研出版	
古文単語315		桐原書店	
漢文必携		桐原書店	

担当者からのアドバイス

これまで身に着けてきた知識をアウトプットすることで知識と知識を繋ぎあわせ、古典世界の解像度を上げていきましょう。

教科	科目	コース	授業時間	担当者
国語	現代文Ⅱ	SG・理国	2	宮田

到達目標
大学入試共通テストで得点を取れる読解力、思考力を身につける。

授業の進め方・学習方法
共通テスト対策問題、過去問題等を使用し、問題演習を行う。 問題演習を行いながら、基礎的な漢字、語彙の力を身につける。

授業スケジュール	
1学期	問題演習（共通テスト対策問題、共通テスト過去問）
1学期中間試験	
1学期	問題演習（共通テスト対策問題、共通テスト過去問）
1学期期末試験	
2学期	問題演習（共通テスト対策問題、共通テスト過去問）
2学期中間試験	
2学期	問題演習（共通テスト対策問題、共通テスト過去問）
2学期期末試験	
3学期	
学年末試験は実施しない	

成績評価方法		
種別	割合(%)	評価基準など
定期試験	80	授業内試験を80%の評価対象とし、残り20%を授業内小テストや課題、授業内の取り組みなどで評価する。
レポート		
小テストなど	0～20	
授業での取り組み	0～20	

教科書・教材		
書名	出版社	備考

参考書			
書名	著者	出版社	備考

担当者からのアドバイス
問題量をこなすことで速読力も身につけ、設問の意図をすばやく読み取り、適切な解答を見つけることができる力を育成しましょう。

教科	科目	コース	授業時間	担当者
国語	入試古典	SG・理国	2	遠藤

到達目標

1.共通テストの古典分野で高得点が取れる力を養う
2.古典文学作品を通し、日本文学や文化に対する幅広い教養を身につける

授業の進め方・学習方法

　実際の入試問題を中心とした問題演習と、語彙と文法の授業内テストを行う。
【予習】問題を解いたあと答え合わせをし、わからなかった単語や文法事項を調べ、現代語訳を確認する
【復習】重要箇所の現代語訳と解き直し

授業スケジュール

1学期	問題演習（演習は共通テストを中心に国公立大対策など幅広く行う）
1学期中間試験は実施しない	
1学期	問題演習（演習は共通テストを中心に国公立大対策など幅広く行う）
1学期期末試験は実施しない	
2学期	問題演習（演習は共通テストを中心に国公立大対策など幅広く行う）
2学期中間試験は実施しない	
2学期	問題演習（演習は共通テストを中心に国公立大対策など幅広く行う）
2学期期末試験は実施しない	

成績評価方法

種別	割合(%)	評価基準など
定期試験		授業内試験を80%の評価対象とし、残り20%を小テストや課題、授業内の取り組みなどで評価する。
レポート		
小テストなど	0～20	
授業での取り組み	20～100	

教科書・教材

書名	出版社	備考
共通テスト対策【実力養成】重要問題演習　古典	ラーンズ	

参考書

書名	著者	出版社	備考
体系古典文法		数研出版	
古文単語315		桐原書店	
漢文必携		桐原書店	

担当者からのアドバイス

週に2時間ずつしかない国語の授業で、共通テストでの高得点を目指しています。
毎回の小テストや問題演習に対する真摯な取り組みと、授業での高い集中を望みます。

教科	科目	コース	授業時間	担当者
地理歴史	日本史探究	SG	6	表

到達目標

1. 近世後期から現代にいたるまでの流れをつかみ、政治・外交・経済・文化の重要知識の習得をはかる。
2. 共通テストレベルの基礎学力の定着と、難関国公立・私大の入試に対応できる応用力・記述力の養成をはかる。

授業の進め方・学習方法

1. 教科書を大切に、基礎基本の理解力の育成と同時に入試頻出テーマを確認しながら、実践的な授業を展開していきます。
2. 重要事項の確認テストを実施します。

授業スケジュール

1学期	第Ⅲ部　近世 第10章　幕藩体制の動揺 1 幕政の改革　2 宝暦天明期の文化　3 幕府の衰退と近代への道　4 化政文化
1学期中間試験	
1学期	第Ⅳ部　近代・現代 第11章　近世から近代へ 1 開国と幕末の動乱　2 幕府の滅亡と新政府の発足 第12章　近代国家の成立 1 明治維新と富国強兵　2 立憲国家の成立 第13章　近代国家の展開 1 日清・日露戦争と国際関係　2 第一次世界大戦と日本　3 ワシントン体制
1学期期末試験	
2学期	第14章　近代の産業と生活 1 近代産業の発展　2 近代文化の発達　3 市民生活の変容と大衆文化 第15章　恐慌と第二次世界大戦 1 恐慌の時代　2 軍部の台頭　3 第二次世界大戦 第16章　占領下の日本 1 占領と改革　2 冷戦の開始と講和 第17章　高度成長の時代 1 55年体制　2 経済復興から高度経済成長へ 第18章　激動する世界と日本 1 経済大国への道　2 冷戦の終結と日本社会の変容
2学期中間試験	
2学期	共通テスト対策・国公立二次試験対策
2学期期末試験	
3学期	
学年末試験は実施しない	

成績評価方法

種別	割合(%)	評価基準など
定期試験	80	定期試験の得点を基準として、小テストや課題の提出状況・提出課題の取り組み状況を平常点として加算します。
レポート	~20	
小テストなど	~20	
授業での取り組み	~20	

教科書・教材

書名	出版社	備考
詳説日本史	山川出版社	
詳説日本史図録　第9版	山川出版社	

参考書

書名	著者	出版社	備考

担当者からのアドバイス

日本史探究では、政権担当者を意識して授業を受けてください。そして、復習としてその日の授業範囲について、教科書の精読を行ってください。復習は基礎知識の定着が実現できる唯一の手段であることを忘れずにおこなってください。一緒に頑張っていきましょう。

教科	科目	コース	授業時間	担当者
地理歴史	日本史演習	本科・私文	4	矢野

到達目標
・各種教材を使用して問題演習を行い、入試における実践力の定着を目指す。 ・大学入学共通テストの「日本史」において、8割以上の以上得点する学力をつける。

授業の進め方・学習方法
・問題演習を行った後、解説授業を行う。 ・問題の解説だけではなく、周辺知識の確認や時代別の対比なども行う。 ・生徒レベル、志望校、志望学部を念頭に置いた指導を行う。(なお、編成は本科・SGの合同である)

授業スケジュール	
1学期	・高校2年次に学習した範囲（原始・古代・中世・近世）の内容の問題演習を行う。 ・基本事項だけでなく、周辺知識の確認や時代別の対比なども行う。 ※中間試験は実施しないが、中間試験前に授業内テストを行う。
1学期中間試験は実施しない	
1学期	・高校2年次に日本史探究の授業で学習した範囲（原始・古代・中世・近世）の内容の問題演習を行う。 ・基本事項だけでなく、周辺知識の確認や、時代別の対比なども行う。 ※期末試験は実施しないが、期末試験前に授業内テストを行う。
1学期期末試験は実施しない	
2学期	・高校2年次、高校3年夏休みまでに学習した範囲（原始・古代・中世・近世・近現代）の内容の問題演習を行う。 ・基本事項だけでなく、周辺知識の確認や時代別の対比なども行う。 ※中間試験は実施しないが、中間テスト前に授業内試験を行う。
2学期中間試験は実施しない	
2学期	・高校2年次、高校3年2学期中間までに学習した範囲（原始・古代・中世・近世・近現代）の内容の問題演習を行う。 ・基本事項だけでなく、周辺知識の確認や時代別の対比なども行う。 ※期末試験は実施しないが、期末試験前に授業内テストを行う。
2学期期末試験は実施しない	
3学期	
学年末試験は実施しない	

成績評価方法		
種別	割合(%)	評価基準など
定期試験	80	授業内テスト、小テスト、授業への取り組み方など、総合的に判断して評価を行う。 (定期試験の代わりとして、各学期末に授業内テストを実施する)
レポート	0～20	
小テストなど	0～20	
授業での取り組み	0～20	

教科書・教材		
書名	出版社	備考
詳説日本史	山川出版社	
実力をつける日本史100題	Z会	
詳説日本史図録	山川出版社	

参考書			
書名	著者	出版社	備考
日本史用語集		山川出版社	

担当者からのアドバイス
知識をどれだけ多く知っていても、入試本番でそれを目の前の問題に対応できるように引き出せる力がなければ何の意味もなしません。同時に一度頭に入れた知識をずっと保持し続けることも難しいものです。みなさんはこの2つの難題に取り組まなければなりません。そのためまずは常に知識のメンテナンスを欠かさないでください。何度も知識の確認を繰り返すこと。最重要事項を優先し、繰り返すたびに徐々に細かいところに目を広げていくことを各自で進めてください。そしてこの授業では実際の入試問題を使って演習し、その知識をどう引き出して正解を導き出すのか、その感覚を身につけることを目標とします。そして難関大学で出題される事項の確認もおこなっていきます。

教科	科目	コース	授業時間	担当者
地理歴史	世界史探究	SG	6	沖

到達目標

高校3学年時に大学入学共通テストレベルの実力をつけるのはもちろん、国立受験(論述問題)にも対応できる知識・実力へ仕上げていく。総合的に大学受験で通用する受験世界史の「知識」を身につける。
まためまぐるしく移り変わる現在の世相を、多角的に捉える視点を各国、各時代の世界史を学ぶことで養う。
「社会に貢献できる力」の育成を目指し、単なる知識のみならず、様々な思考を生み出すデータベースとして世界史の知識を学ぶ。

[中期]　世界史の通史を学習し、受験に対応できる知識を身につける。
　　思考の第一段階を養う(原因→結果→影響を常に意識して授業に臨む)
[長期]　高校2学年で学習した内容を踏まえて、模擬テスト等で得点できる実力を養う。

授業の進め方・学習方法

地域ごと(ヨーロッパ・アジア・アメリカ等)の通史を通じて、各国の歴史・文化・他国との関係を理解していく。また地域ごとの特徴を理解するために資料やオリジナルプリントなどでフォローする。原則として講義の形式をとる。
知識を問う分野と関心を高める分野を整理しながら授業を展開し、受験レベルとして必要な内容を身につけていく。【講義】を受けたのち、適度な【演習】を繰り返すことで知識は定着する。決して受講したままにしない心がけが必要となる。授業時に適宜実施予定の確認テストでの語句定着をはかることもある。

授業スケジュール

1学期	●近代の成立 1 ルネサンスと大航海時代 2 宗教改革と反宗教改革 3 集権国家体制の成立 4 16世紀から18世紀の国際関係史
1学期中間試験	
1学期	〈第11章　欧米における近代社会の成長〉 1 立憲王政への道(イギリス史) 2　産業革命 3　アメリカ独立革命と発展 4　フランス革命とナポレオン
1学期期末試験	
2学期	〈第12章　欧米における近代国民国家の発展〉 　1　ウィーン体制とその動揺 　2　ヨーロッパの再編 　3　アメリカ合衆国の発展 　4　19世紀欧米の文化 〈第13章　アジア諸地域の動揺〉 　1　オスマン帝国支配の動揺とアラブの目覚め 　2　南アジア・東南アジアの植民地化 　3　東アジアの激動 〈第14章　帝国主義とアジアの民族運動〉 　1　帝国主義と列強の展開 　2　世界分割と列強対立 　3　アジア諸国の改革と民族運動 〈第15章　2つの世界大戦〉 　1　第一次世界大戦とロシア革命 　2　ヴェルサイユ体制下の欧米諸国 　3　アジア・アフリカ民族主義の進展 　4　世界恐慌とファシズム諸国の侵略
2学期中間試験	
2学期	第15章　二つの世界大戦〉 　5　第二次世界大戦 〈第16章　冷戦と第三世界の自立〉 　1　東西対立の始まりとアジア諸地域の自立 　2　冷戦構造と日本・ヨーロッパの復興 　3　第三世界の自立と危機 　4　米・ソ両大国の動揺と国際経済の危機 〈第17章　現代の世界〉 　1　冷戦の解消と世界の多極化 　2　社会主義世界の解体と変容 　3　第三世界の多元化と地域紛争
2学期期末試験	
3学期	
学年末試験は実施しない	

成績評価方法

種別	割合(%)	評価基準など
定期試験	0～20	定期試験の結果を中心に、授業への取り組みや宿題の提出状況、小テスト・課題テストの結果などを加味する
レポート	0～20	
小テストなど	0～20	
授業での取り組み	80	

教科書・教材

書名	出版社	備考
世界史探究	東京書籍	
世界史詳覧	浜島書店	

参考書

書名	著者	出版社	備考
詳説世界史研究		山川出版社	

担当者からのアドバイス

授業を集中して聞いて下さい。高校3学年の世界史は現代史が大きなメインテーマです。細かな知識を詰めていくこととなりますが、まずは複雑な現代史の大枠(動き、流れ)を捉えることが最優先でしょう。世界史学習のすでに最終段階に入っている皆さんには知識の習得と並行して確認テストを適宜行います。教科書・資料集は参考書として位置づけていきます。最後に世界史は「一般教養」として習得するのだと考えてください。

教科	科目	コース	授業時間	担当者
地理歴史	世界史演習	SG・私文	4	近藤

到達目標
昨年度の学習内容の定着度の確認と並行して，模擬試験や入試問題に対応できる実力の養成をはかる。 生徒個々の進路目標に即した問題演習を行い，偏差値UPをめざす。

授業の進め方・学習方法
基礎的な問題演習や発展的な問題、大学入試問題の演習を行います。毎回様々な大学の入試問題を解いてゆきます。 自分の目標に照らして毎回の演習で定着していない項目を、ノートや教科書に記録、整理して蓄積すること。

授業スケジュール	
1学期	世界史探究と並行した単元の園主 模擬試験対策演習 大学入試過去問演習 ※中間試験は実施しないが、中間試験前に授業内試験を実施する
1学期中間試験は実施しない	
1学期	世界史Bの定期試験対策演習 模擬試験対策演習 大学入試過去問演習 ※期末試験は実施しないが、期末試験前に授業内試験を実施する
1学期期末試験は実施しない	
2学期	世界史Bの定期試験対策演習 模擬試験対策演習 大学入試過去問演習 ※中間試験は実施しないが、中間試験前に授業内試験を実施する
2学期中間試験は実施しない	
2学期	世界史Bの定期試験対策演習 模擬試験対策演習 大学入試過去問演習 ※期末試験は実施しないが、期末試験前に授業内試験を実施する
2学期期末試験は実施しない	
3学期	
学年末試験は実施しない	

成績評価方法		
種別	割合(%)	評価基準など
定期試験	0～20	・授業内考査（定期試験にかわるもの）（履修者全員共通） ・授業ごとの入試問題への取り組み、得点
レポート	0～20	
小テストなど	0～20	
授業での取り組み	80	

教科書・教材		
書名	出版社	備考
世界史探究	東京書籍	
詳説世界史図録	山川出版社	
実力をつける世界史100題	Z会出版社	
世界史語句　チェック	啓隆堂	

参考書			
書名	著者	出版社	備考

担当者からのアドバイス
同じ問題、同じ項目では2度と間違えない！を心に刻んで、問題演習で歴史を定着させよう。

教科	科目	コース	授業時間	担当者
地理歴史	地理探究	SG・国立	3	土肥

到達目標

地球や地球上の地域についてのイメージをつかんだうえで、地理的思考力を構築する。

授業の進め方・学習方法

プリントや問題集を用いて授業を行う。1学期に系統地理を、2学期には地誌を扱う。

授業スケジュール

1学期	農林水産業 工業 村落・都市
1学期中間試験	
1学期	東アジア地誌 東南アジア地誌
1学期期末試験	
2学期	南アジア地誌 西アジア中央アジア地誌 アフリカ地誌 ヨーロッパ地誌
2学期中間試験	
2学期	ロシア周辺地誌 アングロアメリカ地誌 ラテンアメリカ地誌 オセアニア地誌
2学期期末試験	
3学期	
学年末試験は実施しない	

成績評価方法

種別	割合(%)	評価基準など
定期試験	80	定期試験の結果を中心に、授業への取り組みや小テストの結果などを加味して評価する。
レポート	0～20	
小テストなど	0～20	
授業での取り組み	0～20	

教科書・教材

書名	出版社	備考
新詳地理探究	帝国書院	
新詳高等地図	帝国書院	
新詳地理資料 COMPLETE 2024	帝国書院	

参考書

書名	著者	出版社	備考

担当者からのアドバイス

地理は「今」を読み解く学問です。今、地球で起きているさまざまな現象には必ず理由があるはずです。「なぜ」そうなったのか。空間を学ぶことで世界で起きている事象のメカニズムを「理解」し、それを「説明」できるようになりましょう。世界のあらゆる地域で日々引き起こされている現象に興味をもち、地球の未来を創りだしましょう。身についた地理の教養は、自らの知識を深めるにとどまらず、これからの人生を豊かにするはずです。

教科	科目	コース	授業時間	担当者
公民	政治経済	SG・国立	3	岸野

到達目標

1：青年期における自己形成と人間としての在り方生き方について理解と思索を深めさせるとともに，自己の確立を促し，良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。
2：民主主義の本質に関する理解を深め，現代における政治，経済，国際関係などについて客観的に理解できるようになる。
3：多角的・多面的なものの見方を身につけるとともに，現代の諸課題について主体的に考察し、公正に判断できる力を養う。

授業の進め方・学習方法

板書プリントを用いて、学習事項の講義を行う。プリントだけに頼らず、講義内容を積極的にメモすることが好ましい。
演習用の問題を解き、講義内容の理解を深める。

授業スケジュール

1学期	・民主政治の基本原理 ・日本国憲法の成立と基本的性格 ・基本的人権の保障 ・日本の安全保障と地方自治 ・日本の政治制度
1学期中間試験	
1学期	・国際社会の成立と国際法 ・国際機関と戦後国際社会の動向 ・戦後国際政治の動向と日本 ・経済社会の変化 ・市場経済の機能と限界 ・経済成長と景気変動
1学期期末試験	
2学期	・財政と金融のしくみ ・戦後日本経済の発展と現状 ・日本経済の諸問題 ・国際経済のしくみ ・国際経済機関と地域的経済統合 ・国際経済の諸問題と日本
2学期中間試験	
2学期	・現代日本の諸課題 ・国際社会の諸課題 ・問題演習
2学期期末試験	
3学期	
学年末試験は実施しない	

成績評価方法

種別	割合(%)	評価基準など
定期試験	80	定期試験を中心に小テストや授業での取り組みを平常点として加味して評価する。
レポート	0～20	
小テストなど	0～20	
授業での取り組み	0～20	

教科書・教材

書名	出版社	備考
詳述　政治経済	実教出版	

参考書

書名	著者	出版社	備考
Winning COM.-PASS　公共・政経の整理と演習		東京法令出版	

担当者からのアドバイス

「センター試験」でも必要とされた基本的知識事項を固めること、これが政治経済の学習において一番大切なポイントである。ただ、それに加えて、「暗記のみ」には頼らないようにして欲しい。共通テストでは、単なる知識の確認だけではなく、その運用する能力が求められている。これを身につけるためには、基本的知識事項に対する「深い理解」と政治経済の学習内容を「自分のこととして学ぶ姿勢」が必要である。学習内容に対して、常に疑問を持つ姿勢を忘れず、思考しながら授業に参加してほしい。

教科	科目	コース	授業時間	担当者
公民	倫理	SG・国立	3	近藤泉

到達目標

1：青年期における自己形成と人間としての在り方生き方について理解と思索を深めさせるとともに，自己の確立を促し，良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。
2：多角的・多面的なものの見方を身につけるとともに，現代の諸課題について主体的に考察し、公正に判断できる力を養う。
3：共通テスト「倫理」に向けた演習を通じて知識・理解、思考力・判断力・表現力を養う。

授業の進め方・学習方法

プリント、教科書を用いて、学習事項の講義を行う。プリントだけに頼らず、講義内容を積極的にメモすることが好ましい。
演習用の問題を解き、講義内容の理解を深める。

授業スケジュール

1学期	・青年期の特徴 ・ギリシアの思想 ・キリスト教・イスラーム教・仏教 ・中国の思想
1学期中間試験	
1学期	・人間の尊厳（ルネサンス～近代思想） ・現代社会と個人（資本主義社会への批判～科学観の転換）
1学期期末試験	
2学期	・日本の文化と仏教 ・日本儒教と民衆思想 ・近代の日本思想 ・近代民主主義思想と人権 ・近代市民社会の倫理
2学期中間試験	
2学期	・現代日本の諸課題 ・国際社会の諸課題 ・問題演習 ・生命と環境 ・情報社会
2学期期末試験	
3学期	
学年末試験は実施しない	

成績評価方法

種別	割合(%)	評価基準など
定期試験	80	定期試験を中心に小テストや授業での取り組みを平常点として加味して評価する。
レポート	0～20	
小テストなど	0～20	
授業での取り組み	0～20	

教科書・教材

書名	出版社	備考
新倫理	清水書院	

参考書

書名	著者	出版社	備考

担当者からのアドバイス

「共通テスト」で必要とされた基本的知識事項を固めること、これが倫理の学習において一番大切なポイントである。一方、単なる知識の確認だけではなく、それを運用する能力が求められている。これを身につけるためには、基本的知識事項に対する「深い理解」と倫理の学習内容を「自分のこととして学ぶ姿勢」が必要である。学習内容に対して、常に疑問を持つ姿勢を忘れず、思考しながら授業に参加してほしい。

教科	科目	コース	授業時間	担当者
数学	数学Ⅲ	SG	6	堀内・小沢

到達目標
入試問題で戦える数学力を身に着ける。

授業の進め方・学習方法
1学期は講義形式＋問題演習 2学期は問題演習＋記述指導

授業スケジュール	
1学期	積分法
1学期中間試験	
1学期	数学ⅠＡⅡＢⅢ演習
1学期期末試験	
2学期	数学ⅠＡⅡＢⅢ演習
2学期中間試験	
2学期	数学ⅠＡⅡＢⅢ演習
2学期期末試験	
3学期	
学年末試験は実施しない	

成績評価方法		
種別	割合(%)	評価基準など
定期試験	80	
レポート	~20	
小テストなど	~20	
授業での取り組み	~20	

教科書・教材		
書名	出版社	備考

参考書			
書名	著者	出版社	備考

担当者からのアドバイス
受験に向けて与えられた時間は同じです。その「価値」を高めながら、日々成長するよう心掛けましょう。 特に、高3のスタートから「どれだけ自分に厳しく取り組めたか」が「メンタル」を鍛えます。受験に負けないためにも、積極的に挑んでください。こちらも全力で導きます。

教科	科目	コース	授業時間	担当者
数学	数学Ⅲ	本科	6	堀内・小沢

到達目標

入試問題で戦える数学力を身に着ける。

授業の進め方・学習方法

1学期は講義形式＋問題演習
2学期は問題演習＋記述指導

授業スケジュール

1学期	積分法
1学期中間試験	
1学期	数学ＩＡⅡＢⅢ演習
1学期期末試験	
2学期	数学ＩＡⅡＢⅢ演習
2学期中間試験	
2学期	数学ＩＡⅡＢⅢ演習
2学期期末試験	
3学期	
学年末試験は実施しない	

成績評価方法

種別	割合(%)	評価基準など
定期試験	80	
レポート	~20	
小テストなど	~20	
授業での取り組み	~20	

教科書・教材

書名	出版社	備考

参考書

書名	著者	出版社	備考

担当者からのアドバイス

受験に向けて与えられた時間は同じです。その「価値」を高めながら、日々成長するよう心掛けましょう。
特に、高3のスタートから「どれだけ自分に厳しく取り組めたか」が「メンタル」を鍛えます。受験に負けないためにも、積極的に挑んでください。こちらも全力で導きます。

教科	科目	コース	授業時間	担当者
数学	数学ⅠAⅡBC	SG	6	山口

到達目標

数学の基本構造を大切にし、分野を横断した思考に多く触れることで高校数学を俯瞰する意識をもち、入試問題への対応力を養う。

授業の進め方・学習方法

・授業における解説は要点に絞り、計算力・思考力の強化のため演習時間を確保する。
・基礎の拡充に必要な教材として、FocusGoldを十分に活用して知識のインプット・アウトプットを連動させる。
・必要な生徒に応じて、論述対策(添削)を実施する。

授業スケジュール

1学期	数ⅠAⅡBC分野の基本事項＋頻出事項の確認
1学期中間試験	
1学期	数ⅠAⅡBC分野の基本事項＋頻出事項の確認
1学期期末試験	
2学期	共通テスト・入試問題演習
2学期中間試験	
2学期	共通テスト・入試問題演習
2学期期末試験	
3学期	
学年末試験は実施ない	

成績評価方法

種別	割合(%)	評価基準など
定期試験	80	一回の試験の範囲が膨大になるため、適宜確認試験を行うようにする。
レポート	20	
小テストなど		
授業での取り組み		

教科書・教材

書名	出版社	備考
プリント		

参考書

書名	著者	出版社	備考
FocusGold 数ⅠA, ⅡB		啓林館	

担当者からのアドバイス

受験に向けて与えられた時間は同じです。その「価値」を高めながら、日々成長するよう心掛けましょう。
特に、高3のスタートから「どれだけ自分に厳しく取り組めたか」が「メンタル」を鍛えます。受験に負けないためにも、積極的に挑んでください。こちらも全力で導きます。

教科	科目	コース	授業時間	担当者
数学	数学演習	SG・理系	2	小沢

到達目標

入試問題で戦える数学力を身に着ける。

授業の進め方・学習方法

1学期は講義形式＋問題演習
2学期は問題演習＋記述指導

授業スケジュール

1学期	入試問題演習（基本・標準）
1学期中間試験	
1学期	入試問題演習（標準）
1学期期末試験	
2学期	入試問題演習（標準・発展）
2学期中間試験	
2学期	入試問題演習（標準・発展）
2学期期末試験	
3学期	
学年末試験は実施しない	

成績評価方法

種別	割合(%)	評価基準など
定期試験		
レポート		
小テストなど		
授業での取り組み		

教科書・教材

書名	出版社	備考

参考書

書名	著者	出版社	備考

担当者からのアドバイス

受験に向けて与えられた時間は同じです。その「価値」を高めながら、日々成長するよう心掛けましょう。
特に、高3のスタートから「どれだけ自分に厳しく取り組めたか」が「メンタル」を鍛えます。受験に負けないためにも、積極的に挑んでください。こちらも全力で導きます。

教科	科目	コース	授業時間	担当者
理科	物理	SG	6	井上

到達目標

・物理を通して、帰納的・演繹的思考力を身につける。身につけたその力は、どの分野に進むにしても、だれからも奪われない一生の財産となるでしょう。

・大学入試の典型問題を自力で解く力を身につけ、志望校（最難関大学も含む）に合格する物理解答力を養う。

授業の進め方・学習方法

・基本的には、
①板書による講義により、物理理論の重要事項を伝えます。適宜、法則を発見するに至る帰納的思考や演繹的思考について伝えます。
②問題集を用いて物理理論の重要事項を使う練習をすることによって、思考力を養います。単振動や回路問題など、いつも決まったやり方で解けるような問題については、解き進める前に、解法のパターン化を示します。
③演示実験により、物理理論と現実との関わりについて説明します。

※　下記の授業スケジュールは進度によって変更する可能性があります。

授業スケジュール

1学期	第5章　円運動と万有引力（総合物理1） 3. 単振動 4. 万有引力 第2編　熱と気体 第1章　熱と物質 第2章　気体のエネルギーと状態変化 第3編　波（総合物理2） 第3章　光 1. 光の性質 2. レンズと鏡 3. 光の干渉と回折
1学期中間試験	
1学期	第4編　電気と磁気 第1章　電場 1. 静電気 2、電場 3. 電位 4. 物質と電場 5. コンデンサー 第4編　電気と磁気 第2章　電流 1. オームの法則 2. 直流回路 3. 半導体
1学期期末試験	
2学期	第3章　電流と磁場 1. 磁場 2. 電流のつくる磁界 3. 電流が磁場から受ける力 4. ローレンツ力 第4章　電磁誘導と電磁波 1. 電磁誘導の法則 2. 自己誘導と相互誘導 3. 交流の発生 4. 交流回路
2学期中間試験	
2学期	第5編　原子 第1章　電子と光 1. 電子 2. 光の粒子性 3. エックス線 4. 粒子の波動性 第2章　原子と原子核 1. 原子の構造とエネルギー準位 2. 原子核 3. 放射線とその性質 4. 核反応と核エネルギー 5. 素粒子
2学期期末試験	
3学期	
学年末試験は実施しない	

成績評価方法

種別	割合(%)	評価基準など
定期試験	80	平常点は、授業態度、課題の提出状況などから算出する。
レポート	0～20	
小テストなど	0～20	
授業での取り組み	0～20	

教科書・教材

書名	出版社	備考
総合物理1・2	数研出版	
リードα物理基礎・物理	数研出版	
フォトサイエンス物理図録	数研出版	

参考書

書名	著者	出版社	備考

担当者からのアドバイス

物理を通じて物事を筋道を立てて組み立てる思考力の向上を目指します。
様々な事象を数式で表現し予測する楽しさを体感しましょう。

教科	科目	コース	授業時間	担当者
理科	化学	SG	5	田仲

到達目標

化学基礎で学んだ概念をもとにして高校化学で扱う総合的な概念を体系的に理解する。
理論化学分野では日常生活や社会と関連付けて考察する力や概念や法則を活用できる力を養う。
有機化学分野では様々な性質や反応を活用して応用，表現する力を養う。
無機化学分野では基本的な物質の性質や反応の知識を用いて課題を整理し，分析する力を養う。

授業の進め方・学習方法

授業は教科書の内容に沿って進め，大学入試を意識した発展的な内容も扱う。
知識も単なる暗記だけではなく背景や多角的に考えられるよう様々な事例を紹介する。

授業スケジュール

1学期	第5部　高分子化合物 2章 天然高分子化合物 3章 合成高分子化合物 第2部　物質の変化と平衡 1章 化学反応と熱・光エネルギー 4章 化学平衡
1学期中間試験	
1学期	4編 無機物質 1章 周期表と元素 2章 非金属元素の単体と化合物 3章 典型金属元素の単体と化合物 4章 遷移元素の単体と化合物 5章 無機物質と人間生活
1学期期末試験	
2学期	入試問題を中心に、各単元の演習を行う
2学期中間試験	
2学期	入試問題を中心に、各単元の演習を行う
2学期期末試験	
3学期	
学年末試験は実施しない	

成績評価方法

種別	割合(%)	評価基準など
定期試験	80	定期考査の結果を主として，授業の取り組みや小テストの結果も加味する。
レポート	0～20	
小テストなど	0～20	
授業での取り組み	0～20	

教科書・教材

書名	出版社	備考
高等学校　化学	啓林館	
化学重要問題集	数研出版	

参考書

書名	著者	出版社	備考

担当者からのアドバイス

大学入試を見据え，化学事象の原理や法則を掘り下げて授業を展開します。
内容が多岐にわたり難しく感じるかもしれませんが、ただの暗記に終わることがないよう、一つづつ丁寧に取り組んでいって下さい。

教科	科目	コース	授業時間	担当者
理科	生物	SG	6	木津

到達目標

生物学は、生命現象が「どのようにして」、「何のために」起こるのかを探究し、説明する学問です。
その学問の基礎を学ぶために、以下の到達目標を設けます。
・生物や生命現象に対する関心や探究心を身につける。
・生物学の基本的な概念や原理・法則の理解を深める。
・生物学的な見方、考え方を養う。
・身に付けた知識を活用し、自らの考えを表現する力を身に付ける。
・大学入試問題に対応できる力を身につける。

授業の進め方・学習方法

〇授業の進め方
・内容理解を中心に授業を進めて行きます。
・演習問題のPDFはクラスルームに共有し、問題演習を行います。
・たくさんの情報の中から、必要な情報を整理していく練習をし、正確に文章を書けるようにします。

授業スケジュール

1学期	第2部　生命現象と物質 第5章　生命と物質 第6章　代謝
1学期中間試験	
1学期	第3部　遺伝情報の発現と発生 第7章　遺伝情報と物質 第8章　発生と遺伝子の発現 第9章　バイオテクノロジー
1学期期末試験	
2学期	第4部　生物の環境応答 第10章　刺激の需要と反応 第11章　動物の行動 第12章　植物の環境応答
2学期中間試験	
2学期	第5部　生態と環境 第13章　個体群と生物群集 第14章　生態系
2学期期末試験	
3学期	
学年末試験は実施しない	

成績評価方法

種別	割合(%)	評価基準など
定期試験	80	定期試験の結果を中心に、レポート、授業への取り組みなどを総合的に評価します。
レポート	0~20	
小テストなど	0~20	
授業での取り組み	0~20	

教科書・教材

書名	出版社	備考
高等学校　改訂　生物基礎	第一学習社	
高等学校　改訂　生物	第一学習社	
リードα生物基礎・生物	数研出版	
ニューグローバル　生物基礎・生物	東京書籍	

参考書

書名	著者	出版社	備考

担当者からのアドバイス

入試問題の対策がメインになってはきますが、生物を楽しく学ぶことが目標です。常に疑問を持ちながら、生物のおもしろさを感じていきましょう。一緒に高校生活最後の1年を楽しみましょう！

教科	科目	コース	授業時間	担当者
英語	英語コミュⅢ	SG	3	上田

到達目標
大学入試に対応できる読解力及びリスニング力を身に付ける。

授業の進め方・学習方法
授業のメインは英語長文問題の演習とその解説だが、文章をより正確に読めるようになるための英文和訳(英文解釈)やリスニング演習・音読テストも重視していく。

授業スケジュール	
1学期	Cutting Edge Chapter 1～4 Element Lesson 1～3 *適宜大学入試対策演習を実施
1学期中間試験	
1学期	Cutting Edge Chapter 5～7 Element Lesson 4～6 *適宜大学入試対策演習を実施
1学期期末試験	
2学期	Cutting Edge Chapter 8～12 Element Lesson 7・8 *適宜大学入試対策演習を実施
2学期中間試験	
2学期	Cutting Edge Chapter 13～16 Element Lesson 9・10 *適宜大学入試対策演習を実施
2学期期末試験	
3学期	
学年末試験は実施しない	

成績評価方法		
種別	割合(%)	評価基準など
定期試験	80	定期試験 授業内小テスト 提出物（週末課題・休暇中課題） から総合的に評価する。
レポート		
小テストなど	20	
授業での取り組み		

教科書・教材		
書名	出版社	備考
ElementⅢ	啓林館	
Cutting Edge blue	Emile出版	

参考書			
書名	著者	出版社	備考

担当者からのアドバイス
出来ることをコツコツと毎日頑張りましょう。

教科	科目	コース	授業時間	担当者
英語	英語演習	私大	3	浜中

到達目標
大学入試問題を中心とした演習を行い、解答力を身につける。

授業の進め方・学習方法
入試問題演習→解答解説

授業スケジュール		
1学期	大学入試問題	
1学期中間試験は実施しない		
1学期	大学入試問題	
1学期期末試験は実施しない		
2学期	大学入試問題	
2学期中間試験は実施しない		
2学期	大学入試問題	
2学期期末試験は実施しない		
3学期		
学年末試験は実施しない		
レポート		授業内での小テストや確認試験（定期試験の代わりの授業内テスト。通例試験1週間前の授業で行う）、出席状況などを総合的に評価する。
小テストなど		
授業での取り組み		

教科書・教材		
書名	出版社	備考

参考書			
書名	著者	出版社	備考

担当者からのアドバイス
志望校の出題傾向をよく把握し、しっかり演習を積んでいきましょう。

教科	科目	コース	授業時間	担当者
英語				

到達目標

授業の進め方・学習方法

授業スケジュール	
1学期	
1学期中間試験	
1学期	
1学期期末試験	
2学期	
2学期中間試験	
2学期	
2学期期末試験	
3学期	
学年末試験は実施しない	

成績評価方法		
種別	割合(%)	評価基準など
定期試験		
レポート		
小テストなど		
授業での取り組み		

教科書・教材		
書名	出版社	備考

参考書			
書名	著者	出版社	備考

担当者からのアドバイス